

大東市立市民会館 外部評価結果

評価対象施設	大東市立市民会館
指定管理者名	太平ビルサービス大阪株式会社
評価対象年度	令和元年度、令和2年度、令和3年度
施設所管課名	市民生活部 市民政策課

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響下での評価となる。

1. 指定管理者による自己評価結果に対する意見等

■施設運営の改善点等

- ・令和元年度2月からの新型コロナウイルス感染症による影響を受けるまでは、事業計画や協定に基づいて、映画鑑賞会や講演会等の自主事業を実施し、多くの市民に参加していただいたことは高く評価できます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い多くのキャンセルが発生したが、大きなトラブルもなく料金返還事務を実施されています。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、三密回避のための収容人数の減員や、アルコール消毒剤の全館への配置といった標準的な対策に加えて、人体が触れる箇所への抗菌・抗ウイルステープを貼付するなどの、利用者目線を意識した安全確保への積極的な姿勢は高く評価できます。
- ・利用者アンケートについては、「満足」が6割以上を占めていますが、「普通」が3割以上、僅かながら「やや不満」も見受けられるため、市民会館ならではの魅力を発信し、それを実感してもらえるような取り組みを行ってください。
- ・休館となった期間を利用し、壁面の損傷が激しかった会議室の補修工事を実施するなど、会館を利用できない状況にあっても、自分たちでできることを考え行動したことは高く評価できます。

■収支状況等について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用料金を中心に収入減となり、全額補填とならないことから厳しい運営状況となっていると考えます。
- ・今後はウィズコロナ、アフターコロナをより一層意識し、以前の生活スタイルに100%は戻らないということを前提に、新しい生活スタイルに合わせた独創的な魅力を開発し、効率的で確かな収入増が見込めるような施設運営に努めてください。

2. 市（施設所管課）による内部評価結果に対する意見等

■ 所管課の評価の仕方について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、様々な制約を受けざるを得ない事態となったことから、自主提案事業の未実施や、キャンセル等に伴う利用料収入減といった不可抗力があったことは否めないが、新型コロナウイルス感染症による負の側面を肯定するだけでなく、指定管理者としての創意工夫等の実態についても検証すべきと思われます。
- ・アンケート結果については、「満足」されている利用者が大勢を占めていることから、管理運営について肯定はしているものの、「普通」が3割以上、僅かではあるが「やや不満」の回答に対しては、利用状況やニーズを把握し、研鑽に努めるよう評価したことは妥当であると考えます。

■ 指定管理者に対して指導すべきポイント等

- ・指定管理期間の約7割が新型コロナウイルス感染症といった未知の脅威に晒されることになりませんが、今期はイベント等の未開催、休館等に伴う利用料金の減収が顕著となり、加えて消毒剤や清掃、抗菌・抗ウイルス等の感染対策費の支出が高み、非常に厳しい状況下での管理運営であったことは容易に推察できます。今後もウィズコロナが続くと想定されますが、アフターコロナとなってからも、以前の生活スタイルには戻らない可能性が高く、社会全体が不安定な状況であるからこそ、活路を見出すチャンスがあるとも言えます。令和4年度からは、市民会館の全会議室・ホールでWi-Fiが整備され、インターネット環境が整う予定であることから、今後の情報通信社会に通じる、新しい事業・可能性を展開していただきたいと思います。また、この先の新たな時代を見据えた、民間企業ならではの戦略を打ち出し、大東市立市民会館の存在価値を大いに高めていただけることを期待しています。

3. 総合評価

- ・協定書・仕様書に基づいた適切な管理運営を履行しています。
- ・抗菌・抗ウイルスフィルムの貼付等の新型コロナウイルス感染症拡大防止の諸対策を実施し、クラスター発生等の感染トラブルもなく、心理面も含めた安全確保を最優先事項としている姿勢が評価できます。
- ・緊急事態宣言等の影響により利用件数が下回るなか、「安全・安心」を前面に打ち出した運営理念についてパンフレット等を通じて発信したことにより、多くの新規利用者の開拓を実現したことは大きく評価できます。
- ・アンケート調査結果では「不満」の回答はなかったものの、僅かながらも「やや不満」の回答もあることから、同アンケートで回答されているニーズ等を十分配慮して施設の運営に活用していただきたいと思えます。